

# 「民間クラウドサービス活用公共情報コモンズ導入モデル」 検討ワーキンググループの第1回会合を開催 ～ 併せて、第1回目の合同実証実験を実施 ～



第1回検討WGの様子



第1回実証実験の様子

北陸総合通信局（局長 齊藤 一雅）と北陸情報通信協議会安心・安全部会（部会長 宮島昌克 金沢大学教授）は、5月9日、「民間クラウドサービス活用公共情報コモンズ導入モデル」検討ワーキンググループ（以下「検討WG」）を設置し、第1回会合を開催するとともに、併せて、第1回合同実証実験を実施しました。

検討WGは、安心・安全部会が昨年12月にとりまとめた「公共情報コモンズの導入に関する中間報告」を踏まえ、災害時の情報共有伝達基盤となる「公共情報コモンズ」の自治体への導入を促進するため、民間事業者が提供するクラウドサービスを活用した公共情報コモンズ導入モデル（以下「クラウド活用モデル」）の実証実験を行い、その有効性を検証するために設置したもので、第1回会合において、検討WG及び実証実験の概要・スケジュール等を確認しました。

引き続き行われた第1回合同実証実験では、実証実験の概要等に関する説明の後、石川県及び石川県内の7市（金沢市、七尾市、小松市、白山市、能美市、かほく市、野々市市）の防災担当職員の参加を得て、実際の災害を想定したシナリオに沿い、クラウド活用モデルを利用して公共情報コモンズへの情報発信を行い、操作性等を検証しました。

検討WGでは、今後、実験に参加した自治体及び放送事業者等から、クラウド活用モデルに対する意見・評価等の収集・分析を行い、6月上旬に同モデルに関する総合的な評価をとりまとめることとしています。

検討WGのメンバー及び実証実験のスケジュールは以下のとおりです。

1. 検討WGのメンバー：座長 宮島 昌克 金沢大学教授  
石川県、富山県、福井県、NHK金沢、NHK富山、NHK福井、  
福井放送(株)、福井ケーブルテレビ(株)、  
(株)ケーブルテレビ富山、(株)石川コンピュータ・センター
2. 実証実験のスケジュール
  - (1) 各自治体による個別の実証実験 5月9日(木) から 5月30日(木)まで
  - (2) 第2回合同実証実験 5月30日(木) 午前10時30分から

問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室 076-233-4430